

第13回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

～新橋・内幸町・日比谷・京橋の散歩コース～

当番世話人 櫻井 實

第13回歴史&ハイキング愛好会例会は新緑の晴天の下、平成28年5月21日（土）に実施しました。久しぶりの首都圏散歩に期待を寄せられた方も多く22名が参集されました。まずJR新橋駅銀座改札口に午前10時30分集まり、昔懐かしい「ニッパーズ銀座」のショールーム跡地に立ち寄り、今は㈱タキヒヨーが買取り、1階はコンビニ「サンクス」が営業をしていました。

内幸町に行く途中、JR線路で煉瓦造りの連続アーチ橋を眺めながら千代田区立の内幸町ホールへと足を伸ばしました。内幸町ホール横には五千円札の肖像に採用された樋口一葉生誕の碑がありました。

右手に「みずほ銀行本店」、左手には大阪ビルディングの大（ダイ）ビルを見ながら日比谷公園に向かった。大正9年（1920年）建設の日比谷公会堂・市政会館の横にある日比谷図書文化館では、「環境・人間・都市」を基本軸に千代田区の古代から現在までの歴史を文化財とともに展示しており、久々に勉強しました。

日比谷公園は幕末までは佐賀藩松平（鍋島）肥前守などの屋敷であったが、明治時代に陸軍練兵場となり、その後、都市公園として造成され、平成15年には開園100周年を迎えた。広さは16万m²（約5万坪）。

日比谷公園内にはいくつかの食事処がありますが、日比谷音楽堂近くの「日比谷グリーンサロン」にて昼食。食後は新緑鮮やかな公園内を散策し、花壇には色鮮やかな四季の花が咲いて心が洗われました。

当日は、「Hibiya Oktoberfest 2016」開催されており、酒愛好家たちの喉を潤してくれました。

東北の日本酒販売しているお店を見つけて、酒豪ぞろいの寿会千葉支部の人たちは飲み比べしていました。

日比谷公園での想定外のビール祭りに参加して、ほろ酔い加減の気持ちで午後の散策に出かけました。備後福山藩阿部家上屋敷の跡地に、昭和39年（1964年）東京オリンピック開催に合わせて帝国ホテルが営業開始しました。右手にホテル、左手に帝国劇場を見ながらJR線路を潜り抜けると左手に泰明小学校が見えてきました。明治11年（1878年）創立。外観はツタの絡まる校舎の外壁と3階の半円形の窓、「フランス門」と呼ばれる瀟洒なデザインの門扉など銀座に相応しい趣きある建物。

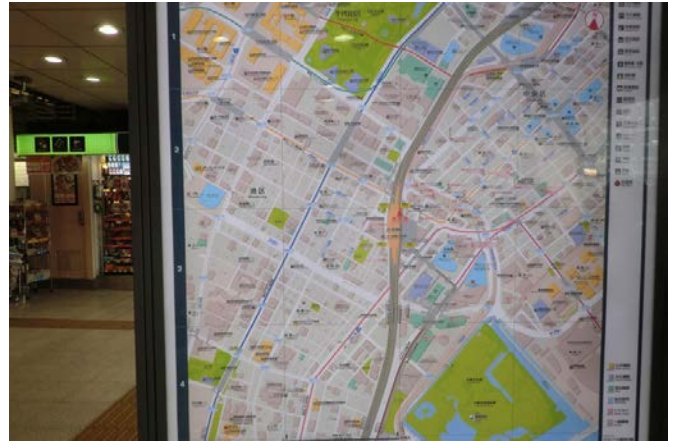
数寄屋橋交差点のソニービル反対側には本年3月31日にオープンした「銀座東急プラザ」が現代的なデザインで営業しています。首都高速下には明治14年（1881年）に開校した明治大学跡地の碑があります。

数寄屋橋交差点を交番方面に渡りすぐに、「銀座の恋の物語」の碑が平成2年に建立された。昭和36年（1961年）に石原裕次郎と牧村句子のデュエットで発表され、大ヒットしました。

東京都民がパスポート申請に立ち寄る交通会館3階屋上庭園では、JR山手線・新幹線の走りが自分の目線で確認でき、子供たちには大人気のスポットです。反対の東側は高架状態の首都高速道路が見え、これも自動車好きの子供たちには興味ある場所です。

本日の最後の訪問地、京橋はかつて京橋川に架けられた橋ですが、現在は埋め立てられ道路になりました。土曜日・日曜日の正午から中央通り（銀座通り）は歩行者天国となり、青空の下、爽快な気分で有楽町駅まで歩きました。この後、有志15～16名によりガード下の居酒屋で大いに盛り上がり17時に解散。

* JR 新橋駅：構内地図で櫻井世話人 散歩コース説明



* 新橋駅より土橋・内幸町に向かう



* 「ニッパーズ銀座」





* 都立日比谷公園：公会堂入口での集合写真

< 参加者（敬称略）> 上段：川股賢三、宮地秀幸、小口健一郎、白岩仙一
 中段：櫻井 實、牧田賢一、中島公一、宮武亨、西長義方、山田昌之、田代 周、平木行雄、六角 学
 下段：植野郁夫、遠藤哲也、浦上宜明、宇田川修彦、住田勝治、野田 佑、川島省三、木頃勝紀、小澤敏宣、

* 日比谷公園内で休息



* 交通会館 3 階屋上庭園



* 中央通り（銀座通り）歩行者天国

